

MYCOM Meeting for Youth COMMunity 2004

第5回AI若手の集い発表募集

本ワークショップは、AI研究を志す若手の研究者の連携、特に各自の専門領域で深めてきた研究の議論の場に止まらず領域外の研究者への研究意義とその目的の発表を中心に、専門領域の異なる若手研究者間の議論によって、これからのAI研究に対する共通した問題意識の確認、さらにその横断的解決の方向性を模索することを目指しています。

5回目を迎えるMYCOMは、例年AI研究に関わる様々な領域の若手研究者が集まり活発な議論と交流がなされる場として定着しつつあります。研究発表は、様々な分野の研究者に向けて研究の意義と目的を示すとともに、問題解決に向けての全体での議論にも重点をおき、十分な時間をとって行われます。また、毎回好評のグループディスカッションでは、共同問題解決を目指してテーマについて議論しあうと同時に、研究に対する思い入れなどをはじめ、若手同士肩肘張らずに語り合うことができます。第5回MYCOMでは、AI研究に関わる修士課程の学生、30代前半ぐらいまでの大学、企業の研究者の方の発表を下記の要領で募集いたします。また、若手が専門の技を学んで成長する場として、若手に限らず一般参加者も歓迎致します。皆様の積極的な参加をお願いいたします。

招待講演

招待講演者：東京大学大学院情報学環 植田一博

演題：「人間の知、機械の知：動的な認知観が人工知能を変える？」

概要：人工知能研究は、その目標を、工学的な問題解決器の実現から実世界での人間の支援に変化させているように見える。その結果、人工知能研究が扱うべき対象は、純粋に工学的な問題解決（機械の知）から、ユーザである人間やまわりの環境とインタラクションしながらほど良い妥協点を見出ししていくようなタイプのものへと変化せざるを得なくなる。これは人間が日々行っているのと同じ種類の問題解決（人間の知）なので、認知科学研究の知見を活用すべきだと考えられる。特に、発達、学習、熟達といった長期的な視点や、要素がインタラクションすることで変化するという視点をとり入れた、新しい動的な認知観は、人工知能が考えるべき問題設定に一石を投げると期待される。本講演ではまず、このような人間の知と機械の知とがどのような点で異なるのかを述べ、人工知能研究が新たに扱うべき問題を動的な認知観の点から議論する。そして、具体的にどのような問題を扱い、人工知能研究に人間の知に関する認知科学的な知見をいかに取り入れるか、逆に人工知能研究から人間の知の理解に貢献できることはあるのか、といった事柄を、我々の研究プロジェクトを通して説明する。

開催要項

- 主催：人工知能学会
- 日時：2004年6月24日（木）10:00から25日（金）17:00まで
- 会場：琵琶湖コンファレンスセンター（JR能登川駅より、マイクロバス又はタクシーで約10分。会議開始前と終了後に送迎バスを運行。詳しくは<http://www.biwako-cc.com/>をご参照ください。）
- 募集要件：
 - AIに関わる研究テーマであれば、制約はありません。また、第3回MYCOMからはサマースクールと企画統合しましたので、AI以外の工学・自然科学・社会科学・人文科学・デザインなどの異分野も歓迎いたします。
 - 研究の意義と研究目標を、領域外の研究者にも分かりやすく記述して下さい。研究のアイデアや考え方に対するポジションペーパーや進行中の研究に対する発表も歓迎いたします。
 - なお、今回のグループディスカッションでは、AI研究に関連して話し合いたいテーマを参加者の皆さんから広く募集します。魅力的なテーマの提案をお待ちしています。
- 発表時間：long発表（1件40分程度：20分発表，20分議論），short発表（1件20分程度：10分発表，10分議論）
- 発表資格：登壇者は主催学会の会員・非会員を問いません。なお、非会員の方は、MYCOM終了後、人工知能学会への入会をお勧めいたします。
- 申込要項：講演者は、1ページ目の上部に、（1）発表の種別（long発表／short発表）、（2）題目、（3）筆者氏名（登壇者に*印）、（4）所属機関名、所在地、（5）連絡先氏名、住所、Tel、Fax、E-mailアドレス、URL、（6）グループディスカッションのテーマ（2、3行程度でその内容もお書き下さい。）を記入したA4版1～2ページのアブストラクト（図表を含む）のPDFファイルを電子メールでmycom2004-app@pvq.jpまでお送り下さい。一般参加者は、上記のうち、（4）、（5）、（6）の内容をテキスト形式の電子メールでお申し込み下さい。なお、いずれの場合も、必ずsubjectは「MYCOM2004 application」をお願いいたします。
- 申込締切：2004年5月20日（月）プログラムの編成上、締切を過ぎた申込の場合は、short発表に回って頂く場合があります。
- 採択通知原稿：発表論文の内容を実行委員会で審査の上、結果を実行委員長より4月末までに通知いたします。最終採択された発表は、当方の指定した書式にしたがって、論文原稿をA4版4枚以上8枚以内（但しshort発表の場合はA4版2ページで可）で執筆の上、ワークショップ当日に各自人数分を持参していただきます。また、後日予稿集をオンラインプロシーディングとして公開する予定です（PDFファイルにてお送り頂きます）。
- 参加費：宿泊費：10,000円（1日目昼・夜，2日目朝・昼の4食を含む）
参加費：正会員，非会員：4,000円，学生会員：3,000円
- 問い合わせ先：山口 智浩（第5回MYCOMプログラム実行委員長）
奈良工業高等専門学校 電子情報工学専攻科 Email: yamaguch@info.nara-k.ac.jp

なお、MYCOM2004の最新情報は、<http://www2.create.human.nagoya-u.ac.jp/mycom2004/>をご覧ください。